

質問

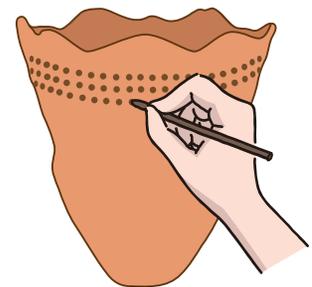
- ①刺突文とはなんですか？
- ②合掌土偶は元々赤かったとのことですが、どんな素材で彩色されていましたか？
- ③「中実」とはどういう意味ですか？

(いのり2025さん)

答え

たくさんのご質問、ありがとうるん！  
それぞれに学芸員がお答えするるん。

①刺突文<sup>しとつもん</sup>とは、棒のような道具の先で突き刺してつけられた文様のことで、土器や土偶などの土製品にみられます。道具の先の形によって、丸や三角のような形などいくつか種類があります。



刺突文の付け方

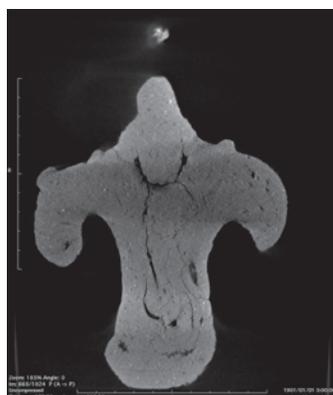
②合掌土偶に塗られた赤色は、ベンガラ（酸化第二鉄・ $Fe_2O_3$ ）です。

③「中実<sup>ちゅうじつ</sup>」とは、中身がつまっていることです。反対に、中身が空っぽになっている場合は「中空<sup>ちゅうくう</sup>」といいます。縄文時代の土偶の作り方は、体の中に粘土がつまっている中実と、体の中が空っぽの中空の2種類にわけられます。

例えば、是川縄文館で展示している土偶では、合掌土偶をはじめとした風張<sup>かざはり</sup>(1)遺跡でみつかった土偶は中実です。一方、是川中居遺跡<sup>これかわなか い</sup>でみつかった大きな遮光器土偶<sup>しゃこうき</sup>は、中空のものが多くみられます。



中空の遮光器土偶の頭



合掌土偶の中身  
X線CTスキャンしたときの画像。  
白い部分が粘土、黒い部分が粘土同士のすきま。

